



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月25日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東
コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-5210-6688
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,653	△0.4	1,315	△11.6	1,340	△9.8	913	△10.6
2023年12月期第1四半期	7,685	△19.6	1,488	△36.8	1,486	△38.8	1,021	△38.2

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 897百万円 (△9.3%) 2023年12月期第1四半期 989百万円 (△40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	28.26	—
2023年12月期第1四半期	31.60	31.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	28,837	22,456	77.9	694.47
2023年12月期	28,351	22,463	79.2	694.67

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 22,456百万円 2023年12月期 22,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	25.00	—	28.00	53.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	22.00	—	20.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,200	△4.0	2,100	△22.7	2,100	△22.9	1,400	△24.3	43.29
通期	28,300	△3.7	4,000	△23.5	4,000	△23.3	2,700	△20.6	83.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、2024年3月11日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しましたが、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しておりません。

なお、当該自己株式の取得については、2024年3月11日公表の「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ」及び2024年4月10日公表の「自己株式の公開買付けの結果及び自己株式の取得終了並びに親会社及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期1Q	34,471,000株	2023年12月期	34,471,000株
2024年12月期1Q	2,135,577株	2023年12月期	2,133,238株
2024年12月期1Q	32,337,505株	2023年12月期1Q	32,337,756株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益及び雇用・所得環境が改善する下、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が期待されました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰による物価上昇に伴い、個人消費の持ち直しには足踏みがみられる等、懸念される状況となりました。

こうした環境の下、当社グループは、ミッション「正しい情報を効率的につなぐ」に基づき、多くの情報から正しい情報を導き出し、その情報を必要とされる方へ効率的に届けることに注力した結果、連結経営成績は次のとおりとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,653百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

オンラインモールのストア向けクリック課金型広告「StoreMatch（ストアマッチ）」については、前年同四半期比がプラスで推移しました。一方、成果報酬型広告「アフィリエイト」については、金融分野の広告主に一時的な広告出稿意欲の回復がみられたものの、前連結会計年度からの厳しい事業環境の下、前年同四半期比を下回る結果となりました。

販売費及び一般管理費は、中期経営計画に伴う戦略投資の実施及び自己株式の公開買付け関連費用の計上により、1,367百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

営業利益は、主に販売費及び一般管理費の増加により、1,315百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

経常利益は、営業外収益に投資事業組合運用益17百万円を計上したものの、1,340百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等427百万円を計上したこと等により、913百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①マーケティングソリューションズ事業

マーケティングソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイトへの「集客」を軸とするソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」であります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイト」について、金融分野は広告主に一時的な広告出稿意欲の回復がみられ、売上高を押し上げましたが、就職・転職、PC・家電等、一部分野において広告主における出稿方針変更の影響を受けたことにより、全体としては前年同四半期比で微減となりました。この結果、セグメント売上高は3,182百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント利益は563百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

②ECソリューションズ事業

ECソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイト上での「販売促進」を軸とするソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、オンラインモールのストア向けクリック課金型広告「StoreMatch（ストアマッチ）」及びCRMツール「STORE's R∞（ストアーズ・アールエイト）」であります。そのほか、ECサイト運営支援「B-Space（ビースペース）」を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「StoreMatch（ストアマッチ）」については、メーカー向け広告機能「StoreMatch Pro（ストアマッチプロ）」の利用の増加等により、前年同四半期比で増収となりましたが、「STORE's R∞（ストアーズ・アールエイト）」については、一部ストアの利用減少の影響を受けたことにより、前年同四半期比で微減となりました。この結果、セグメント売上高は4,152百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益は1,212百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

③トラベルテック事業

トラベルテック事業は、連結子会社であるダイナテック株式会社を中心に、主に宿泊施設向けのソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、宿泊予約システム「Direct In（ダイレクトイン）」及び宿泊管理システム「DynaLution（ダイナリユーション）」であります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、宿泊施設の投資意欲の回復もあり、前年同四半期比で増収となりましたが、新たな事業領域への投資や宿泊管理システム移行による投資先行により、セグメント損失となりました。この結果、セグメント売上高は319百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント損失は31百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は28,837百万円となり、前連結会計年度末と比べて486百万円増加いたしました。

流動資産は27,140百万円となり、前連結会計年度末と比べて474百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が418百万円増加したことによるものです。

固定資産は1,697百万円となり、前連結会計年度末と比べて12百万円増加いたしました。これは、主にソフトウェア仮勘定が69百万円減少したものの、ソフトウェアが88百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,381百万円となり、前連結会計年度末と比べて494百万円増加いたしました。

流動負債は6,320百万円となり、前連結会計年度末と比べて518百万円増加いたしました。これは、主に未払金が240百万円減少したものの、買掛金が237百万円、未払法人税等が220百万円、その他流動負債が184百万円増加したことによるものです。

固定負債は61百万円となり、前連結会計年度末と比べて23百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は22,456百万円となり、前連結会計年度末と比べて7百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が剰余金の配当により905百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により913百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が16百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は21,952百万円となり、前連結会計年度末と比べて418百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,400百万円（前年同四半期は653百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,340百万円であり、プラス要因として、減価償却費が87百万円、仕入債務の増加額が237百万円であったものの、マイナス要因として、未払金の減少額が281百万円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は80百万円（前年同四半期は102百万円の使用）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が79百万円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は900百万円（前年同四半期は931百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が899百万円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年1月30日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました2024年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,534	21,952
受取手形及び売掛金	3,750	3,817
未収入金	1,267	1,169
その他	118	202
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	26,665	27,140
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	103	109
工具、器具及び備品(純額)	64	89
リース資産(純額)	7	6
有形固定資産合計	175	205
無形固定資産		
ソフトウェア	607	695
ソフトウェア仮勘定	140	70
のれん	52	39
顧客関連資産	67	50
その他	5	5
無形固定資産合計	872	861
投資その他の資産		
投資有価証券	619	613
繰延税金資産	—	2
その他	17	15
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	637	630
固定資産合計	1,685	1,697
資産合計	28,351	28,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,385	2,622
未払金	2,378	2,138
未払法人税等	249	470
賞与引当金	0	116
その他	787	972
流動負債合計	5,802	6,320
固定負債		
繰延税金負債	22	—
その他	62	61
固定負債合計	85	61
負債合計	5,887	6,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,728	1,728
資本剰余金	1,211	1,211
利益剰余金	19,765	19,773
自己株式	△520	△520
株主資本合計	22,184	22,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279	263
その他の包括利益累計額合計	279	263
純資産合計	22,463	22,456
負債純資産合計	28,351	28,837

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,685	7,653
売上原価	5,033	4,970
売上総利益	2,652	2,682
販売費及び一般管理費	1,163	1,367
営業利益	1,488	1,315
営業外収益		
アフィリエイト報酬精算益	0	0
投資事業組合運用益	—	17
貸倒引当金戻入額	0	2
その他	3	5
営業外収益合計	4	25
営業外費用		
投資事業組合運用損	7	—
為替差損	0	0
その他	0	—
営業外費用合計	7	0
経常利益	1,486	1,340
特別損失		
減損損失	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	1,478	1,340
法人税、住民税及び事業税	433	444
法人税等調整額	22	△17
法人税等合計	456	427
四半期純利益	1,021	913
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021	913
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△16
その他の包括利益合計	△32	△16
四半期包括利益	989	897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	989	897
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,478	1,340
減価償却費	105	87
のれん償却額	13	13
株式報酬費用	3	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△2
受取利息	△0	△0
投資事業組合運用損益(△は益)	7	△17
減損損失	7	—
売上債権の増減額(△は増加)	417	△66
仕入債務の増減額(△は減少)	△149	237
未収入金の増減額(△は増加)	249	97
未払金の増減額(△は減少)	△437	△281
その他	366	210
小計	2,059	1,622
利息の受取額	0	0
法人税等の支払額	△1,406	△221
法人税等の還付額	—	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	653	1,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△1
無形固定資産の取得による支出	△91	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	1	—
配当金の支払額	△930	△899
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△931	△900
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△380	418
現金及び現金同等物の期首残高	20,184	21,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,803	21,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	マーケティ ングソリュ ーションズ 事業	ECソリュ ーションズ事 業	トラベルテ ック事業	計		
売上高						
成果報酬型広告 「アフィリエイト」						
ASP	648	—	—	648	—	648
コンサルティング	2,016	—	—	2,016	—	2,016
オプション	558	—	—	558	—	558
クリック課金型広告 「StoreMatch (ストアマッチ)」	—	3,303	—	3,303	—	3,303
CRMツール 「STORE's R∞ (ストアーズ・ア ールエイト)」	—	661	—	661	—	661
トラベルテック	—	—	307	307	—	307
その他	3	185	—	188	—	188
顧客との契約から 生じる収益	3,226	4,151	307	7,685	—	7,685
外部顧客への売上高	3,226	4,151	307	7,685	—	7,685
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,226	4,151	307	7,685	—	7,685
セグメント利益又は セグメント損失(△)	574	1,249	△7	1,816	△327	1,488

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△327百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注)2
	マーケティングソリューションズ事業	ECソリューションズ事業	トラベルテック事業	計		
売上高						
成果報酬型広告「アフィリエイト」						
ASP	555	—	—	555	—	555
コンサルティング	2,120	—	—	2,120	—	2,120
オプション	503	—	—	503	—	503
クリック課金型広告「StoreMatch(ストアマッチ)」	—	3,361	—	3,361	—	3,361
CRMツール「STORE's R∞(ストアーズ・アールエイト)」	—	617	—	617	—	617
トラベルテック	—	—	318	318	—	318
その他	2	173	—	175	—	175
顧客との契約から生じる収益	3,182	4,152	318	7,653	—	7,653
外部顧客への売上高	3,182	4,152	318	7,653	—	7,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	3,182	4,152	319	7,653	△0	7,653
セグメント利益又はセグメント損失(△)	563	1,212	△31	1,744	△428	1,315

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△428百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの報告セグメントは、「マーケティングソリューションズ事業」及び「ECソリューションズ事業」の2区分としておりましたが、当社グループが2024年1月1日から経営管理区分を変更したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、「マーケティングソリューションズ事業」、「ECソリューションズ事業」及び「トラベルテック事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び顧客との契約から生じる収益の区分に基づき作成したものを開示しております。